



「角高の良さ」 Part III

卒業生と話をする機会がありました。彼らに「角高の良さ」について聞いてみると、「先生と生徒の距離が近い」という答えがすぐ返ってきました。授業や部活動に熱意をもち、生徒のことを第一に考える先生ということであれば、どこの学校でもよく見かける教師の普通の姿のようにも思えますし、当然そういう先生方は生徒にも慕われます。そのような一般論を超えて敢て「距離が近い」と彼らに言わせるものがあるとしたら、それは一体何でしょうか。

焦点に向かって集まる光のような勢い。ふいに口をついて出てきた言葉です。今年の統合がひとつのきっかけになったと思います。互いの良さに惹かれあうことで、自分自身の良さにも気づき、よりよい自己を目指そうとする純粋な気持ちが角高生の当たり前になり始めているのではないか。ある2年生がこの2年間を振り返り、「去年は角高、角南が別々の存在としてはっきり見えていたが今年はそれが見えない。時間をかけて本当の意味でひとつになってきたからではないか」と語ってくれました。生徒同士に限りません。学校のあるべき姿を思い描いて踏み出した先生方のそれぞれの一步が、互いに歩み寄り、協力して学校を動かす一步となっているように見えます。ここに至って生徒と教師の歩調が重なりあいます。立場も違えば目標や夢も趣味にいたるまで全く異なる一人ひとりが、何かを求め何かを成そうとする思いを共有するとき、その中心に向かって働く力が何を起こすのか想像に難くありません。「教師と生徒の距離が近い」のはむしろ当然の帰結ではありませんか。

もうセンター試験が終わり、受験生は最終盤に向け、次の一步を踏み出しています。そのセンター激励会が先週の金曜日にホールで行われました。先生方の趣向を凝らした、数々の激励の言葉、多分20名ほどの先生が集まり激励のメッセージを投げかけてくれました。しかし最も印象的だったのは、贈られたメッセージそのものよりも、それに聞き入っていた112名の受験生たちです。先生方の一言一言にあわせて頷き、笑い、そして頑張ってきたんだという満足げな表情が浮かんでいました。語る者と聞き入る者の間に何とも言えない温かさや明るさが広がっていました。「焦点に向かって集まる光のような勢い」はそんなところにも垣間見えたのです。

ある座談会に参加して

昨年の暮れのことです。同窓会主催の座談会が開催されました。野球部 OB 会、元親の会の方々には山手前校長ほか同窓会役員と本校から校長、事務長が加わり、総勢20名ほどで会は始まりました。テーマは「甲子園を振り返って」です。ノスタルジーに浸るには早すぎるとも思いましたが、それは浅慮というもの。語られる一人ひとりの「甲子園」はたちどころに居合わせた全員の「甲子園」に火をつけました。耳を傾けている参加者は、まるで昔話に聞き入る少年のように頬を紅潮させ、それぞれの甲子園を昨日のここのように思い出していました。感動とはどれだけ歳月を経ようとも決して色褪せることがないのだという思いが込み上げます。決して野球部のみを応援する会などではありませんでした。それぞれの甲子園を目指して感動に辿り着くと、角高生一人ひとりにエールを送る決起集会だったのだと納得の座談会でした。

行事予定

- 1月20日(水) 天津市友好交流事業
- 1月21日(木) 定例職員会議
- 1月22日(金) 3年生出願検討会 英検
全県新人バレー(～1/24)
- 1月23日(土)
センターチャレンジ(2年)
進研模試(1年)
- 1月24日(日) 全商簿記検定(1・2年)
- 1月25日(月)～28日(木)
3年学年末考査
- 1月29日(金) 前期選抜学力検査
- 1月30日(土) 漢字検定
- 1月31日(日) 全商情報処理検定(2年)



「角高の良さ」 Part II

「角高の良さは何？」との問いに対する生徒たちの答えには、「団結力」や「協調性」という言葉がよく出てきます。運動会や角高祭で見たエネルギーは確かに団結や協力の賜でしょうし、1、2学期の各部の活躍も、個人競技、団体競技を問わず、チームワークや仲間意識という横の繋がりに支えられている部分が多いものと思います。

さらに尋ねます。「じゃあ、なぜ団結力が強いのか？」 答えに窮する難問ですが、ある3年生がこんなことを言ってくれました。「進学でも就職でも、進路に向かってみんな頑張っているからだと思います」。とてもいい切り口です。自分の進路に向かって頑張る人に進学も就職もありません。就職希望であれ、進学希望であれ、その努力に応じ正當に評価され、また尊敬の対象となるという土壌が角高にはある。そういう対等な関係という下地があるからこそ、団結力が深まり、仲間意識も生まれる。角高の良さとして大いに自慢して良い点だと思います。

「視野が広がった」ことを統合の効果として挙げる生徒が多いのも、互いの立場や努力を認め合う生徒同士の対等な視線が担保されているからでしょう。視野は水平方向に広がるものであり、上滑りな上下関係から生まれるようには見えません。

自分の目指す方向はそれぞれ異なっても、あるいは、目標と自分との間にどれほどの開きがあろうと、そこに向かって頑張る者を理想とし、応援し合う生徒たちの存在は、旧角高、旧角南の強みでもありました。互いを尊重し合う気風が底流にあって初めて意味をなす「団結力」であり「協調性」なのだと思います。

高橋画伯の贈り物

この度旧制角館中学校17期生の高橋貢画伯より、油彩画3点をご寄贈いただきました。高橋氏は同じ旧中仙町出身の画家で叔父にあたります広幡憲氏(昭和23年没)の影響を強く受け、帝国美術学校(現武蔵野美大)に進学後、広幡氏と同様抽象画を描き続けてこられました。氏は、会員200名を超える美術団体「秋耕会」の名誉会長も務めておられ、過去の美術展において最高賞を受賞されるなど、多くの優れた作品を生み出しております。また作品の多くが秋田市立千秋美術館に収蔵されております。

この度、画伯のご好意や弟様が石黒同窓会長と同窓の仲であったことも幸いし、3点の作品を頂戴することができました。大変有り難く存じます。

本校は、旧角高、旧角南由来の美術品を多数所有しており、美術部や美術類型(コース)もあることから、教育的活用も含め、所蔵品の展示方法や展示場所などについて検討を加え、有効活用を図って参りたいと考えております。

行事予定

- 12月8日(火)～11日(金)
秋田県高校総合美術展(書道)
- 12月10日(木)～11日(金)
家庭クラブ東北大会(横手)
- 12月11日(金) 進路決定者の集い
- 12月11日(金) 自動車学校入校説明会
- 12月11日(金)～13日(日)
3校合同勉強合宿(1年)
- 12月19日(土)
アンサンブルコンテスト(横手市民会館)
- 12月19日(土)～23日(水)
ソフトテニス女子インドア県南強化錬成大会
- 12月21日(月) 伝達式 終業式
- 12月22日(火)～1月11日(月) 冬季休業
- 12月22日(火)～24日(木)
公務員セミナー
- 12月22日(火)～26日(土) 冬期補習



「ホテル」と「選挙啓発ポスター」と……

「角館高校の良さは？」と問われる機会が少なからずあります。ひとつには、新角館高校が旧角高や旧角南からどのように生まれ変わったかを知りたいという純粋な欲求によるものであり、ひとつには、高校の違いを真剣に探ろうとする、特に中学生のリサーチの一環という側面もあつてのことだろうと思います。そんなとき、皆さんならどんな答えを準備するでしょうか。ここにふたつの取組を紹介し、「角高の良さ」について少し考えてみたいと思います。

その名も「ホテル復活プロジェクト」。3年生の小松春佳さん、阿部浩之君、藤島星奈さんの研究が、中央大学の「第15回高校生地球環境論文賞」で、見事第2位にあたる優秀賞を獲得しました。生物が専門の信田教頭先生の指導のもと、受験勉強の合間を縫って行った研究です。フィールドワークの欠かせない研究であり、教室に籠もった授業では決して味わうことの出来ない「未知との遭遇」がそこにはあつたものと思います。

1年生の佐藤実結さんは、明るい選挙推進協会主催の「明るい選挙啓発ポスターコンクール」を目指しました。もともと美術に興味を持っていた佐藤さんですが、コンクールへの作品出品という授業の枠を越えた目標を得て、自分の感性や技術力アップに真正面から向き合うことができたのでしょうか。文部科学大臣・総務大臣賞受賞という素晴らしい成果となって結実しました。作品の出品に向け、美術の田口、草薨両先生の指導があつたことは言うまでもありません。

このふたつの「挑戦」の中に角館高校の良さや方向性、可能性が見えてはこないでしょうか。つまり、日頃の学習の枠を越えた何か。既存の組織された活動とはひと味違う何か。その「何か」が生まれる素地が角高にはある、あるいは生まれつつあるという期待感を、角高の良さとしてカウントしていいのではないかということです。Dタイムという本校の探求活動が、こうした「手作りの活動」を下支えしているとも言えます。教室や学校という枠を跳び越えた「生徒対教師の真剣勝負」「オンリーワンへのいざない」に、新角高の新たな可能性を感じます。

校長面談から……

ほとんどの生徒は、「今の気分」に一番近い選択肢として、4択中、ロの「どちらかという前向き」を挙げると前回書いたばかりでしたが、驚くべきことに、その後の一ヶ月で答えの傾向が激変しました。なんと、ほとんどの生徒がイの「とても前向き」だということです。しかし、その理由はというと、これまでとあまり変わりがなく、不安は常に抱えている訳です。一ヶ月前との大きな違いは、いよいよ各自の「入試(進学)」が迫ってきたという点にありました。不安も緊張感もともすれば高まる一方なのだから、気持ちを前面に押し立てて乗り切るほかないという切迫感がそこにはありそうです。そういう皆さんには、「人生は能力でなく気力で決まる」(曾野綾子著「人間の分際」)という言葉を贈りたいと思います。進路が決定した人たちをも味方につけ、今度は自分の番だと是非「前向き」に目標に体当たりしてください。人生も道も、そのときにしか見えない景色があります。だから今この瞬間を大切に！

行事予定

- 11月25日(水) 大学模擬講義
放送コンクール
- 11月26日(木)～12月2日(水)
面接週間
- 11月27日(金) 職員会議
- 11月27日(金)～28(土)
全統プレ模試(3年)
- 12月1日(火) 学校安全点検日
- 12月3日(木)～8日(火)
1・2年2学期末考査
- 12月8日(火)～11日(金)
秋田県高校総合美術展(書道)
- 12月9日(水) 3年成績会議
- 12月11日(金) 進路決定者の集い



国立台湾師範大學附属高級中学と姉妹校提携

国立台湾師範大學附属高級中学の校長先生以下、職員・生徒あわせて40名ほどが、去る10月14日来校しました。同校は台湾屈指の名門校で、すでに日本の複数の高校と姉妹校の関係にあります。今回、国際交流を重視する両校の教育方針や仙北市の仲立ちもあって、姉妹校提携を結ぶことができました。今後、生徒の相互訪問などを通して、継続的かつ活発な交流を図っていきたいと考えています。

当日は、仙北市長はじめ仙北市の関係者や本校同窓会長、PTA 会長にも御出席いただき、全校生が見守るなか調印式を行いました。歓迎セレモニーでは飾山囃子部によるお囃子と手踊りの披露もあり、台湾の生徒たちにも大好評でした。両校校長や生徒会長本間海渡君の挨拶など、式典は英語で行われましたが、市長の日本語挨拶は、2年の小松輝美さんが流暢な中国語で同時通訳してくれました。また台湾側の代表、顧有立さんも流暢な日本語で挨拶を締めくくるなど、お互い日頃学んでいる「外国語」を実際に使ってみる貴重な機会となりました。

式典後、会場をホールに移して、プレゼンテーションによる交流会が催されました。台湾側のプレゼンのあとには、本校生の質問も飛び出し、英語による交流会も大成功でした。Bコースの生徒たちが準備してくれたきりたんぽ鍋の昼食を堪能したあとは、武家屋敷通りでの英語による町案内に挑戦です。悪戦苦闘している姿にも充実感が感じられ、両校の生徒たちの笑顔や真剣な眼差しに、姉妹校交流の効果と意義の大きさを改めて感じる一日でした。



校長面談から・・・

面談で最初に尋ねるのは、イ)とても前向き ロ)どちらかという
と前向き ハ)どちらかというと後ろ向き ニ)かなり後ろ向き の4
択から、「今の気分」に一番近い選択肢を挙げてもらうという他愛
もない質問です。ほとんどの生徒は、ロ)と答えますが、その理由
がどうも腑に落ちません。というのも、「どちらかという」という条
件付きにせよ、「前向き」の理由を聞いているのに、答えの中に
必ず「合格できるか自信がない」とか「進路に迷いがある」とい
ったマイナス要素が折り込まれるからです。でもこれは、答える側
ではなく、質問する側の問題ではと思いきりました。つまり、生徒
にとって、「前向き」は「前向き」でしかないのだと。「どちらかとい
うと前向き」という、生徒にとっては非現実な設定が、負の側面を
無理矢理意識させる結果に繋がっているとしたら、質問者の本
意ではありません。「大人の尺度」が、無意識のうちに子供のマ
イナス面にばかり光を当て、不安を煽る結果になったら大変と、
言葉の重さと難しさを痛感しているこの頃です。

行事予定

- 10月21日(水)～23日(金) 1年町案内①②③
- 10月23日(金) 生徒会選挙 通知表発送
- 10月24日(土)～25日(日) 3年全統マーク模試
- 10月24日(土)～26日(月) 全県新人弓道大会
- 10月26日(月) 主任会議
- 10月27日(火) 高教研メディア部会(於本校)
1年町案内④
- 10月28日(水) 職員会議 1年町案内⑤
- 10月29日(木) 開校記念日
- 10月29日(木)～31日(土) 春高バレー県予選
- 10月30日(金) 避難訓練 1年町案内⑥
バスケット ウインターカップ(~11/1)
- 10月31日(土) 漢字検定 県南新人剣道大会
(~11/1)



2学期本番に向けて・・・

2学期の始業式からもう3週間が過ぎ、朝晩は涼しさを通り越して肌寒さすら感じる季節となりました。9月1日には、中高学習指導研究協議会が開催され、角館中学校と本校で公開授業が行われました。また、9月7日には指導主事の学校訪問があり、2校時の授業を参観して頂き、講評も頂戴しました。生徒に考えさせたり、生徒の活動の場を重視しようとする意欲の表れた授業が多かったというのが参観した方々の大方の感想でした。もちろんそうした意図は、きめ細かな手立てや緻密な工夫の裏付けと、生徒側の積極的参加をえて初めて可能になります。

夏休み前に実施した「授業アンケート」では、質問10項目中、他の質問に比べ評価の低い項目として、「振り返りの時間」「討論・発表の機会」「個に応じた対応」が挙げられました。生徒の目に映った正直な結果だろうと思いますし、他の質問項目に比して、教師側の姿勢や工夫の余地がまだあるということでしょう。改善したい部分です。

一方、ある学年の先生が直近の模試結果について「数学が伸びてきた。小テストや課題に地道に取り組ませてきた成果だと思う」と語っていました。生徒の興味・関心の醸成という教師側の永遠のテーマの延長線上に学力の向上があるとしたら事は簡単ですが、それと軌を一にしながらも、生徒側の地道な努力がなければ力はつかないこともまた事実です。それが勉強の本質です。成績という結果がすべてではないにしろ、学力向上を目指さない授業も学習もあり得ません。

可視化された教師対生徒の授業パフォーマンスと、全体には見えない生徒自身の継続的な努力や教師側の様々な配慮は、学習という車を支える両輪のようなものです。誰の目にも留まる「結果」は、周囲には見えにくい「プロセス」をどれだけ大事にしてきたかを雄弁に物語るバロメーターです。勉強に限った話ではありません。見えない「過程」を充実させ、見える「結果」に繋げることこそ、人生の大きな醍醐味だろうと思います。

就職・公務員激励会

就職解禁日が9月16日に迫る中、今年度の「就職・公務員激励会」が9月4日に開催されました。参加者は40名ほどでしたが、今年もまた、意欲の高い生徒達が就職・公務員を目指して頑張っています。

激励会の中で、二人の言葉を紹介しました。一人はかつて面接練習をしたある生徒です。「何か夢はありますか」との問いに、「私の夢は自分を育ててくれた家庭のように明るい家庭を築くことです」と彼は笑顔で答えてくれました。もう一人は大学生です。「自分のためだけに頑張るのには限界がある。自分を支えてくれる家族や友人、恩師、あるいはやがて巡り会うであろう新たな人々、そういう自分を取り巻く環境に感謝し貢献することで、自分の価値を見出すのだと思う」。夢を語ることでできる人、他者を思う心を持つ人は、私たちを感動させてくれるものです。

就職・公務員希望者の健闘を祈ります！

行事予定

- 9月16日(水) 就職試験開始日
- 9月18日(金) 3年ベネッセ駿台マーク模試(～9/19)
秋季全県野球Ⅰ(～9/20)
- 9月19日(土) 3年基礎学力模試②
県南演劇コンクール
- 9月20日(日) 田沢湖マラソン
- 9月21日(月) 敬老の日
- 9月22日(火) 国民の日 秋季全県野球Ⅱ～9/23
- 9月23日(水) 秋分の日
- 9月24日(木) タイの高校生学校訪問
- 9月26日(土) 東北新人陸上(～9/28)
- 9月27日(日) マーチング美郷大会
- 9月28日(月) 定例職員会議
- 9月29日(火) 1年県内大学体験②
- 9月30日(水) 地域との交流会 面接週間 ～10/6



1学期を終えて思うこと・・・

新角館高校は2年目に入り、新校舎での学校生活も4ヶ月が過ぎました。旧角館高校、旧角館南高校を「知る」のは3年生のみとなり、1、2年生との間には「旧」と「新」との大きな溝が存在することになるのでしょうか？ いや、そんなことはありません。学校を力強く牽引している3年生たちの背中に、後輩たちは、脈々と受け継がれてきた「若杉精神」と「駒草精神」を日々感じ取っているに違いありません。

しかし、教えなければ伝わらないものもあります。その一つが校訓です。校歌と違って、両校ともこれが校訓だと定められたものではありませんが、角館南高校には、「清く賢く強く」という「校是」があり、角館高校では、「轟々 参天国家棟梁の材」という平福百穂先生の「教え」が校訓として引用されることがよくあります。

3年生との面談や1年生2クラスのアンケート結果などを見ると、新角館高校の校訓は、両校の良さを引き継ぐものであれば、新しいものでも、これまで慣れ親しんできたものでも構わないというのが大勢のようです。片や高山という厳しい環境に堪えて可憐な花を咲かせる駒草に、片や凛としてただひたすらに天を目指し、やがて大木となって美林を形成する若杉に、険しい道程の先にこそ輝かしい明日があるのだという、何者も抗うことのできない人生の真理が託されているものと思います。

1学期、生徒の皆さんはそれぞれ一生懸命に頑張ったはずです。そして、頑張った人は、その努力の報酬として必ず反省の機会を与えられます。自己の至らなかつた点に目を凝らし、耳を澄まし、それらを踏まえて、この夏休み自分だけの密やかな、新たな目標を掲げてみてはいかがでしょうか。身も心も、「いい汗の」夏、「熱い」夏にしましょう。

校長面談から

「コミュニケーション力」という言葉を最近よく耳にします。ではどうということ？と問われても、「言葉のキャッチボール」程度の説明でお茶を濁してしまいがちです。ところが Tさんは違っていました。

デザイン関係の事務所で職場体験をすることになった彼女の仕事は、ある店の、なかなか売れない商品を売るためのポップ制作でした。制作のため、商品や店構え、店主の商品への思いなどについて聞き取りを行っていた時でした。「それって、こういうことですよ」と店主の気持ちや考えを自分なりに汲み取って、投げかけてみました。すると店主は、「あっ、そうだね」と、彼女の問いかけの「切り口」をきっかけに、自身の曖昧模糊としていた思いや意識が一気に明確になった様子だったとのこと。

彼女が「コミュニケーション力」の自分なりの意味に出会った瞬間でした。その後ポップは無事完成し、商品も見事売れたそうです。

行事予定

- 7月21日(火) 賞状伝達式 終業式
全国放送コンテスト(7/20～7/23)
- 7月22日(水) 夏季休業(～8/20)
- 7月23日(木) 成績会議・職員会議
公務員講座(～7/25)
- 7月24日(金) 通知票発送 3年マナー講座
- 7月25日(土) 3年部PTA 16:00～
陸上部校外合宿(田沢湖)
- 7月26日(日) 県柔連強化錬成会(～7/30)
スキー部北海道合宿(～7/31)
- 7月27日(月) 夏季特別講習(2,3年 ～7/28)
- 7月28日(火) 2年勉強合宿(～7/29)
- 7月29日(水) 3年勉強合宿(～8/1)
- 7月30日(木) 東北大学オープンキャンパス
2年インターンシップ(～8/1)
- 8月3日(月) 第2回全統マーク 夏山合宿(～8/7)



平成27年度 第1回学校評議員会開催

今年度の第1回学校評議員会が、去る6月15日(月)に本校で開催されました。今年度も、昨年同様5名の方々に学校評議員をお引き受けいただき、それぞれのお立場から本校へのご助言、ご指導を頂くことになりました。当日は、5校時の授業を参観いただき、その後学校側の説明に続き、各委員の皆様からご感想やご指導を頂戴いたしました。

各委員の主なご意見、ご感想は以下のとおりです。

- ☆女子が多いという印象。男子にとっても、より魅力的な学校であることを期待する。
- ☆授業参観が5校時という事情もあったのだろうが、教室のゴミ箱にゴミが溢れているクラスあり。
- ☆生徒の挨拶がすばらしいことは地域でも評判だ。
- ☆インターンシップ体験が縁となって仙北市に入ってくる卒業生もいて嬉しく感じる。
- ☆面白そうな授業もあるが、カリキュラムが多様化しており、その面では大変だろうという印象。
- ☆地元のことがわかる角高生であって欲しい。その意味では、スキー授業の復活は歓迎。
- ☆挨拶運動をさらに推進して欲しいし、PTAとしても協力を惜しまない。
- ☆特進クラスが何をめざす、どのようなクラスかもっと知りたい。
- ☆乗車マナーや駅のホーム利用については今後とも協力をお願いしたい。

生徒との面談から

生徒の新鮮な「切り口」には、いつもながら感心させられます。

今回は4年制大学志望のAさんに登場してもらいます。子どもが好きだというからには、希望は「保育士」かと思いきや……。

「世間では少子化、少子化と言うけれど、そんなに子どもが少ないのに、じゃあ社会は一体どれだけ手厚い対応を子どもに見せてくれているのだろうか？」素朴な疑問がAさんの出発点だったようです。保育士という仕事を通して子どもに関わるというスタンスよりも、地域と子供を繋ぐという視点でできること、やるべきことが、まだまだあるのではないかと。そこに彼女は自分のやりがいと可能性を感じたということです。自分なりの「気づき」から生まれた本物の「志望理由」は、聞く者にある種の感動を与えてくれるのです。

第2回角高祭

第2回角高祭が6月20日(土)、「輝星-飛躍する時-」のテーマのもと、盛大に開催されました。当日は好天にも恵まれ、大勢のお客様にご来校いただきました。来場された方々には、新校舎での初めての角高祭ということで、各展示部門や体育館でのステージ発表はもちろん、校舎の見学も兼ねて十分ご堪能いただいたものと思います。

当日配付のパンフレットが600枚ほどでしたので、来場者数は本校在籍数に匹敵する700人は越えたものと思われます。あまりの大人数で、おもてなしが行き届かなかった点もあったかと存じます。お気づきの点などございましたら、お気軽にご連絡ください。

行事予定

- 6月26日(金) 進路講演会
- 6月29日(月)～7月2日(木) 1学期末考査
- 7月2日(木) 甲子園予選壮行式
- 7月3日(金) 性に関する指導の日 職員研修
- 7月3日(金)～5日(日) 県体(ソフトテニス卓球バスケ)
- 7月4日(土) 公務員模試⑤(3年) 男鹿駅伝
- 7月4日(土)～5日(日) 県体ソフトボール
- 7月10日(金)～11日(土) 進研記述模試(3年)
- 7月10日(金)～12日(日) 県体バレーボール
- 7月11日(土) 進研模試(1・2年) 看医模試(3年)
- 吹奏楽県南コンクール、県体弓道(~12日)
- 野球選手権秋田大会(~22日)



小さなふたつの出来事

もう衣替えの季節となりましたが、梅雨の気配を感じさせない爽やかな天候に、じめじめした季節を忘れてしまいそうになります。生徒たちも、快適な環境のもと伸び伸びと学校生活を送っている様子です。中間考査直後という日程にもかかわらず、全県総体の先行開催種目である陸上やサッカーはそれぞれ角高の意地を見せてくれました。弓道、柔道を皮切りに、横手を主会場として開催される全県総体での各部の活躍に期待が膨らみます。

午前8時になると、各学年とも朝学習が始まり、生徒たちはもちろん、学年部の職員も各教室に張りつきます。廊下の掃除をしている先生もいます。そんな朝の時間帯、巡回中に見つけた床のシミを取ろうと、濡れ雑巾を片手にしゃがみ込んだところへ、ある男子生徒が「僕がやります」と声をかけてくれました。結局雑巾ではシミは拭き取れませんでした。消しゴムで消えた後で教えられ、嬉しさも倍になりました。やってみなければわからないことはいくらでもあります。そしてやってみて初めて工夫も生まれるということでしょうか。同じような嬉しいことが、数日後に再び起こりました。花巻南と本校のバレー部の練習試合を観戦しようと、体育館に通ずる長い廊下を歩いている時でした。私のいつもの習慣で、廊下に落ちていたゴミ(虫の死骸)を拾い上げた次の瞬間、後ろから「いただきます」と両手を差し伸べる女子生徒がいます。見覚えのないジャージには HANANAN(花南)とありました。後で聞いて知りましたが、来校していた花巻南高校の1年生のマネージャーだったとのことです。見ず知らずの高校の、見ず知らずの大人が拾ったゴミを「いただく」高校生もいるということには、喜びを通り越して感動に近いものを覚えました。高校生の清々しさや可能性すら感じました。「自己を鍛え、他者を思い、明日に向かえ」という理想の生徒像がそこにはありました。

生徒との面談から

生徒たちは、私たち大人が思う以上に事の本質をしっかり見極めているということに気づかされることがよくあります。先日も、ある生徒の部活動に対する姿勢に感心させられました。生徒曰く、チームとしてまとまるには、言葉で言っても伝わらない、納得させられない部分があるので、プレーで見せたり、姿勢で見せたりしなければいけないと思うとのことでした。あとはどう行動に繋げ、その行動をいかに継続していくかということでしょう。そして行動への手助けこそが、我々教師の仕事なのだろうと思います。「校舎がきれいゴミを拾いたくなるから、人前だろうと教室の中だろうと、遠慮せずに拾うことにした」という私の言葉に、「私も拾いたくなります」と生徒たちは言ってくれます。部の生徒同様、彼らの行動にも期待しようと思います。



行事予定

- 6月4日(木) 通信票発送
- 6月5日(金) 特割3時間 全県総体(～9日)
高校写真連盟展(～8日)
- 6月6日(土) 県南演劇発表会
- 6月10日(水) 放送コンテスト(～11日)
- 6月11日(木) 全県ワープロ大会(～12日)
- 6月12日(金) 進研マーク模試3年(～13日)
- 6月13日(土) 基礎学力模試3年 公務員模試
3年 東北高校陸上(～16日)
県体 剣道
- 6月14日(日) 吹奏楽部 定期演奏会
- 6月15日(月) 第1回 学校評議員会
- 6月18日(木) 角高祭(～20日)
- 6月18・19日 合唱コンクール・演劇コンクール
- 6月20日(土) 角高祭 一般公開



←-----→

統合2年目も早1ヶ月以上が経過いたしました。4月6日の始業式、7日の入学式以来、生徒たちは新校舎での学校生活を有意義に過ごしているように思います。午前8時から始まる朝学習(3年生は午前7時50分から朝補習)は、各学年とも緊張感の漂う中、意欲的な取り組みがなされており、望ましい学習習慣の確立に向け、順調なスタートを切りました。また、5月初旬に開催されました県南総体や県南春季野球大会においては、各部とも昨年以上の力を発揮することができ、全県大会に向け、さらなる活躍が期待されるところです。

統合という大きなうねりの中で達成された昨年度の様々な成果や克服すべき課題、日々の学校生活の中に見え隠れする生徒たちの強さや弱さに思いをいたし、今年度は「自己を鍛え、他者を思い、明日に向かえ」という言葉に、生徒の成長への期待を込めたいと考えております。校長面談は今年で3年目となりますが、面談を通して強く感じるものの一つは、物事を前向きに捉えられる姿勢も将来の進路を定める本音の志望理由も、「他者」を自分なりに意識できているかどうかにかかっているということであり、「他者」の意識は自己の様々な体験を通して初めて育まれるという実感です。「他者」を具体的に意識できる人間は強いということでもあろうと思いますし、本校の教育目標である「郷土を愛し、国際社会や地域社会に貢献できる生徒の育成」の大前提でもあろうと考えます。保護者の皆様や同窓の方々はじめ地域の皆様との連携を図りながら、生徒の一層の成長を目指して参りたいと思いますので、本校の教育活動に対しまして一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年度の重点目標

- (1) 基本的生活習慣の確立(自主自律の精神の育成)
- (2) 相手の立場に立って物事を考えることのできる心の育成
- (3) 生徒の主体性を高める授業、家庭学習を前提とする授業等、工夫と魅力のある授業づくりを通し、基礎力の定着や自ら学ぶ意欲、課題解決力、発信力を育成する
- (4) 進路情報の提供や面談を充実させ、生徒が自らの進路実現に主体的に取り組み、高い目標に挑戦する心や姿勢を養う
- (5) 生徒会活動や部活動、学校行事、課題研究、地域学習等、体験的活動や課題解決的活動を通し、感動する心を育み、新たな学校づくりの担い手としての意識や地域の一員としての自覚を高める。
- (6) 「総合的な学習の時間(Dタイム)」の深化(高等教育機関や国内外の高校との連携・交流の推進)
- (7) 学校報や各種通信、ホームページの随時更新等、積極的発信による保護者や地域社会との連携の強化

今年度も、「若杉精神」及び「駒草精神」を継承し、高い志を掲げ努力する人間、他者への配慮を忘れず、清く賢く強く生き抜く人間の育成に努めて参ります。保護者の皆様のお力添えを宜しくお願いいたします。

ノーザンハピネット中村元監督熱く語る!

去る5月12日にスキー部員の激励に本校を訪れた中村和雄元監督は、生徒の激励後、校長室で本校職員と懇談し、部活動指導とノーザンハピネットの指導の共通点などについて、1時間半に亘り熱く語りました。監督は、8年間高校の教員としてバスケットボールを指導した経験を踏まえ、高校の部活動指導もプロの指導も基本的には同じで、まずは礼儀作法をしっかり教えること、全てを教え込むのではなく選手たちに考えさせ工夫させること、どんなに短い時間でも必ず選手のいる場所に出向き選手のプレーを見ること、すべては楽しくなければいけないことなどを、自身の経験談を交えて、わかりやすく説明してくださいました。全校で拝聴したいほど中身の濃いお話に、居合わせた職員は大いに元氣と勇気をいただきました。



第1回 卒業証書授与式 挙 行



新生角館高等学校 第1回卒業証書授与式が、3月1日(日)本校体育館に於いて開催され、全日制課程252名、定時制課程9名の卒業生の門出を盛大にお祝いいたしました。小雪の舞う肌寒い一日でしたが、来賓、保護者500名のご臨席のもと、千名が見守る中、厳かな中にも心温まる卒業式を執り行うことができました。全日制の現生徒会長 本間海渡君の送辞に続き、全日制、定時制の前生徒会長である高橋大地君と千



葉裕太君が答辞を述べました。それぞれ三年間の高校生活を振り返り、支えてくれた家族や恩師、仲間への感謝の言葉とともに、後輩たちへ熱いエールを送って答辞を締めくくりました。

退場の際「ありがとうございました」とクラスごと保護者席に向かって一礼するたびに、体育館はひととき大きな拍手に包まれ、送る側も送られる側も大変感動的な卒業式に胸が熱くなりました。

この校舎とも間もなくお別れ・・・

一般選抜翌日の3月6日(金)は朝から青空が広がり、春の陽気が感じられる一日となりました。この好天に誘われ、校舎の外に足を運んでみました。南向きの教室棟の真下まで迫っていたはずの雪も今は退き、校舎に寄り添うように聳える大木の根元には、もうふきのとうが黄緑色の顔を覗かせておりました。

一年間お世話になったこの校舎とも間もなくお別れです。やや手狭ではあったものの、授業中の真剣な眼差しも休み時間の笑い声も、すべてはこの校舎を舞台に繰り広げられた青春の一ページです。慌ただしかった一年に想いを馳せ、新校舎での生徒達の新たな活躍に期待を膨らませながら、引っ越しの準備作業がしばらく続きます。



行事予定

3月11日(水) 12:50~ 校長室

学修 C ガイダンス

3月12日(木)

国公立後期日程試験

3月13日(金)

一般選抜合格者発表 16:00

3月17日(火)

1・2年成績会議

3月18日(水)

金曜日課



3月20日(金)

修了式 1・2年通知票発送

公務員補習(～3/22)

春季補習(～3/21)

3月21日(土) 春分の日

3月22日(日)～4月4日(土)

春季休業

3月24日(火) 単位追認考査

3月25日(水) 職員会議

3月26日(木)

離任式 新入生説明会



第2回 学校評議員会 開催



第2回学校評議員会が2月16日(月)本校で開催されました。5校時の授業を参観していただいたあと、5名の学校評議員の出席をいただいて全体会を開催いたしました。席上、校長から今年度の教育活動について成果と課題の報告があり、引き続いて信田教頭より学校評価アンケート結果について説明を行いました。会議の中でいただきました各評議員の方々のご意見、ご感想からいくつか簡単にご紹介いたします。

①統合の効果が見える。 ②Dtime(探求活動の時間)の取り組みが素晴らしい。 ③インターンシップ活動をさらにバックアップしたい。マッチングを適切に行うべき。 ④挨拶がよいのは地域に愛着を感じているから。 ⑤探求活動の成果を地域へも発信した方がよい。 ⑥大学進学の方が高卒で就職するより有利といったステレオタイプの固定観念ではこれからの社会は乗り切れない。ご紹介は紙面の都合上ほんの一部ですが、評議員のご意見は後日学校評価アンケートの結果などとあわせ、ホームページに掲載いたしますので、詳しくはそちらをご覧ください。

学校評価保護者アンケートから...

学校評価の保護者アンケートにつきましては、多くの皆様よりご回答いただきありがとうございました。生徒によるアンケート結果とともにホームページに掲載いたします。詳細についてはそちらを御覧ください。ここではご指摘のありました項目から主なものをいくつかご紹介いたします。

指摘の項目：①部活動や授業 ②各種通信、ホームページの更新、メールの活用 ③職員の言葉遣い ④本校の取り組み内容・方向性等(学校の特色、特進、コース制、週末課題、第2外国語) ⑤校舎・教室環境 ⑥生徒や保護者とのコミュニケーションの取り方.....

ご指摘につきましては、各分掌の「自己評価」に活かし、次年度の取り組みに反映させたいと考えております。また「本校の取り組みや方向性」につきましては、統合後1年が経過し、職員の共通認識も形成されつつありますので、今後は発信力を高めて参りたいと存じます。よりよい教育の提供に向け、保護者の皆様との連携強化の必要性を感じております。引き続き、ご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

行事予定

2月23日(月) ~ 26日(木)

1、2年学年末考査

2月25日(水)

国公立前期日程試験

2月26日(木)

3年出校日 式歌練習

大仙仙北地区PTA協議会

2月27日(金)

代休日(2/28)

2月28日(土)

賞状授与式 卒業式予行

3月1日(日)

卒業証書授与式 10:30~

3月2日(月)

代休日(3/1)

3月3日(火)

学校安全点検日

3月5日(木)

一般選抜学力検査 生徒休業日

3月6日(金)

生徒代休(3/27)

3月8日(日)

国公立中期日程試験



新校舎 いよいよ 完成 間近!



新校舎の完成が近づいています。外装工事を終了し、現在は内装工事が急ピッチで進められています。白色と黄色を基調とした爽やかなイメージの外観と白色の壁に杉材を配した暖かみのある内装は、若さ溢れる角高生にふさわしい「白亜の殿堂」に見えました。またどの部屋にも大きな窓が配置され、明るく開放感のある校舎は、生徒の学習意欲を一層掻き立ててくれそうです。「若杉棟」の2、3階部分を占める講堂には、中央のステージ部分の最上部まで窓が配され、古代紫を思わせる足元のカーペットと相まって、落ち着いた雰囲気醸し出しています。各施設とも、今後さまざまな「学び」への積極的な活用が期待されます。



講堂の正面ステージ



西側2階廊下より校舎の全景



東側グラウンドより校舎外観

国立台湾師範大学附属高級中学を訪問

1月14日から16日までの日程で、台湾の複数の高校と交流のあり方について現地話し合いを持ちました。仙北市の職員とともに訪問した本校校長は、姉妹校提携を通じて相互の交流を積極的且つ継続的に進め、生徒間の研究発表や国・地域の歴史、特性の紹介等により互いに学び合うことで、広い視野をもった若者を育てていきたい旨の提案を行い、賛同を得ました。中でも台湾師範大学附属高級中学は、日本の有名進学校との交流実績があり、課題解決型学習にも力を入れている高校であることから、本校にとって大いに刺激になるものと思います。相手校も交流に非常に意欲的で、姉妹校提携の具体的な日程や交流内容を詰めることになりました。 乞うご期待!



行事予定

- 1月22日(木) さくら2 英検1次
- 1月23日(金) 職員会議
全県新人バレー(～1月25日)
- 1月23日(金) 24日(土)
2年センターチャレンジ
- 1月24日(土) 1年進研模試
出願面談(3年)
- 1月26日(月)～30(金)
3年学年末考査
- 1月28日(水)
前期選抜学力検査 生徒代休
- 1月31日(土)
漢字検定・電卓検定
ソフトテニス女子県南インドア大会
- 2月2日(月)
学校安全点検日
- 2月4日(水)
前期選抜合格発表日 3時間授業



本校OB 佐竹知事と柳葉氏トークショー



国民文化祭事業「秋田ゆかりの映画祭」が10月18日、19日の2日間、本校体育館で開催されました。映画祭では、佐竹敬久知事と俳優の柳葉敏郎さんのトークも楽しめるとあって、本校職員や生徒も含め200名以上の市民が詰めかけました。大きな歓声で迎えられたお二人は、映画作りの苦労話から、知事がプーチン大統領に贈った秋田犬「ゆめ」のクレムリンでの暮らしぶりまで、様々な話題で会場を大いに盛り上げて頂きました。トークショーの最後には本校生の質問コーナーもあり、終始和やかな雰囲気トークに観客の方々も大満足のひとときを過ごされたようでした。

高校生へのメッセージとして柳葉さんは、俳優の仕事は役を介して自分の思いを届ける仕事。その思いを感じてくれたら俳優冥利に尽きると、「思い」を込めることの大切さに触れました。また、佐竹知事は、今の高校生は色々な制約がありすぎて気の毒な面もあるが、「自由な心」は失ってはならないと、心の豊かさの大切さを説いてくださいました。また、人間は決して一人では生きていけない。自分の近くにいる人を大事にして欲しいと、忘れがちな身近なものの有難さについてお話しされ、トークショーを締めくくりました。



第2回互見月間・校内研修開催

職員相互の授業を参観し合い、授業力向上に努める「第2回互見月間」が10月20日(月)から11月14日(金)の日程で実施されます。期間中、職員は、他の授業を参観し、授業へのコメントを担当者に伝えるとともに、グループワークや補助教材、教具の利用法などについて、自分の授業に生かせるものを探る機会とします。また、期間中は職員の研究授業も開催される予定です。今回は、生徒に考えさせ、その考えを発表する場を効果的に設定したり、グループワークをとおして、いかに生徒の主体性を確保するかを重点的に取り上げることにしています。

授業は、当然生徒の最大の関心事でもあり、校長面談でも色々要望が出てくるときがあります。生徒の側も、先生方の熱心さに応える意識を忘れずに。

行事予定

- 10月24日(金) 高教研国語部会
於 本校・角館交流センター
- 10月24日(金) 5・6校時
1年生 武家屋敷で「歴史案内人」に挑戦!
- 10月25日(土) 1, 2年土曜講座
- 10月25日(土)、26日(日)
3年第3回全統マーク模試
※2日目の会場は秋田大学
- 10月26日(日) 民俗芸能の祭典
飾山囃子部 出演
- 10月27日(月) 職員会議
- 10月28日(火) 開校式予行 5・6校時
- 10月29日(水) 開校式 13:00~



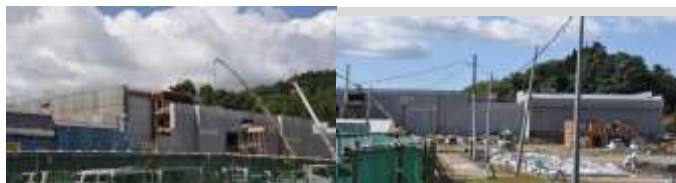
「地域との交流会」開催

これまで角館南高校の行事として行われておりました「地域との交流会」が9月25日午前10時から本校体育館において開催されました。仙北市社会福祉協議会の御協力のもと、日頃お世話になっております地域のお年寄りの皆様を御招待し、感謝の気持ちをお伝えする機会といたしました。お年寄り一人ひとりには1年生のお世話係がつき、和やかな時間を過ごしていただけたものと思います。本校からはインターアクト部、吹奏楽部、飾山囃子部が出演し、それぞれダイナミックな演奏や手踊りに来場の方々から大きな拍手をいただきました。飾山囃子部には定時制の男子2名も横笛で参加し、全定の交流にもなりました。また大曲養護学校高等部の太鼓演奏や同せんぼく分教室の「うたとダンス」も披露され、普段はなかなか交流する機会のない他校種の生徒たちの様子を垣間見ることが出来、本校生にとっても大変有意義な一日となったようです。このほか、定時制の生徒達が手作りしたお菓子や定時制の日常を紹介するパネルが廊下に展示されるなど、例年とはひと味違った交流会ができたものと思います。



校舎改築の槌音高く PartII

ここ数日の好天にも恵まれ、校舎改築が順調に進んでいます。注目の「若杉棟」は、未だシートに覆われていて、骨組みが少し見える程度でしたが室内運動場(右下写真の右手前)は基礎工事がようやく始まり、どのような建物になるのか、期待が高まります。全体の進捗状況は、当初の計画よりやや遅れ気味ですが、来年の4月には新校舎での学校生活が始まります。校舎改築同様、高校生活もこれからが正念場です。「今」を大事に、悔いを残さないよう学校生活を送りたいものです。



行事予定

- 10月7日(火)～9日(木) 中間考査
- 10月9日(木) 1・2年芸術鑑賞
- 10月10日(金) 3年全統記述、英語検定
- 10月10日(金)～バスケット総合選手権
- 10月11日(土)～サッカー 選手権予選
- 10月11日(土) 飾山囃子部 青少年東北民謡芸能の祭典
- 10月12日(日) 全県駅伝
- 10月13日(月)～16日(木) 修学旅行
- 10月16日(木)・18日(土) 3年ベネッセ・駿台記述
- 10月17日(金) 2年修学旅行代休
3年芸術鑑賞
- 10月18日(土) 国文祭「秋田ゆかりの映画祭」(第一体育館)



感動と感謝の気持ちを胸に

7月23日の甲子園初出場決定からあつという間の1カ月が過ぎ、気づいてみればもう秋風の吹く9月も目前となりました。この間、保護者の皆様、OB、OGの皆様、地域の方々には本校野球部の甲子園初出場に際し、多大なる御支援、御声援を頂戴いたしまして誠にありがとうございました。お陰様をもちまして、選手たちも応援の生徒たちも「角館高校ここにあり！」との意地と気概を甲子園の大舞台から全国に向け示すことができたものと感謝申し上げます。試合に敗れはしたものの、あの場に立って初めて手にすることのできた貴重な経験と感動は、必ず次に生かされるものと思います。あと一步で涙をのんだその想いは、応援の生徒も含め、生徒一人ひとりが引き継ぐべきものであり、それぞれの新たな目標に当事者意識をもって突き進んでくれるものと確信いたしております。それこそが、ゆく夏からの最大の賜り物だったように思います。

8月21日の2学期始業式、休み明けテスト、26日まで3日間の日程で繰り広げられた球技大会も終わり、2学期が本格的にスタートするこの時期、感動と感謝を胸に全校一丸となって、学業に、部活動に精一杯取り組んで参りたいと存じます。これまで同様の御支援をお願い申し上げまして、御礼とさせていただきます。



行事

8月30日(土) 就職模擬面接 全統模試2年

3高合同合宿1年(～31日)

9月2日(火) 1年駒ヶ岳登山

9月4日(木) 陸上全県新人(～7日)

9月6日(土) 県南新人弓道、ソフトボール
登山(～7日)、サッカー(～8日)

秋季県南野球I(～7日)

9月12日(金) 秋季県南野球II(～15日)

9月13日(土) インターアクト年次大会(～14日)

県南新人ソフトテニス(～15日)

9月15日(月) 敬老の日

9月16日(火) 就職試験開始

9月19日(金) いじめ調査②
ベネッセ駿台マーク3年



考查も終わり夏来る 壮行式開催



6月30日(月)から4日間の日程で始まった1学期末考查も7月3日(木)に無事終了しました。1学期の終業式まではまだ2週間ほどありますが、考查を早く終えることで、学習面にしても部活動にしても、次(夏季休業)に目標を見定めて早めにギアアップするという効果が期待されます。生徒諸君の意識の切り替えに大いに期待しています。特に3年生にとっては最後の夏です。悔いの残らない、思い思いの暑い夏を目指して欲しいものです。

考查最終日には、夏の甲子園予選秋田大会に出場する野球部の壮行式が行われました。考查終了直後ということで、ほっとした空気の漂う全校生徒とは違い、壇上上がった野球部員たちはみな引き締まった表情をしていました。校長からは、「二度の悔しさから多くのことを学び、大きく成長したことと思う。悔しさが大きければ大きいほど、立ち上がる力は逞しいものとなり、勝ちたいと思う気持ちは誰よりも高まる。注目されること、応援されることを力に変え、新たな挑戦者として無心の戦いを挑んで欲しい。」と激励の言葉を贈りました。千葉天馬主将の一戦一戦全力を尽くすという力強い言葉に、応援団と全校生徒のエールにも力が入りました。千葉主将は7月11日(金)に、こまち球場で行われる開会式で選手宣誓を務めます。角高野球部の活躍を祈念します。



校舎改築の槌音高く!

旧角南生はもちろん、旧角高生にとっても、普段なかなか見られない新校舎の工事現場を、去る7月4日(金)に訪ねてきました。管理棟と教室棟を繋ぐ形で建設される「若杉棟」は、まだ姿を現していませんでしたが、第2体育館下部の生徒昇降口は工事が大分進んでいるようです。写真右手前に建設予定の室内練習場については、7月半ばに工事が始まるとのことです。※「若杉棟」は1階部分が中庭に面する開放的な設計の図書館、2、3階部分が240名収容の講堂(座席は階段状に配置)からなっています。下の写真はグラウンド東側、野球場方向から撮影。



行事

- 7月 7日(月) 管理主事来校・授業参観
- 7月 8日(火) 教育次長来校・授業参観
避難訓練、奨学生証交付式
- 7月 11日(金) 甲子園予選開会式
3年進研記述(～7/12)
- 7月 12日(土) 1、2進研模試
弓道具体(～7/13)
- 7月 13日(日) 全経簿記検定
若杉会中仙支部総会
- 7月 18日(金) 終業式、若杉会定時制総会
- 7月 19日(土) 1、2、3年補習(1、2年7/24まで。3年8/3まで。但し、1、2年は7/21休み)



平成26年度第1回学校評議員会開催



平成26年度第1回学校評議員会が6月13日(金)に本校会議室において開催されました。新角館高校の学校評議員には、次の5名の方々をお願いいたしました。(写真左より) 草薨良子(駒草同窓会長)、高橋新子(仙北市農林部総合産業研究所長)、高橋輝彦(JR角館駅長)、佐藤義一(本校PTA会長)の皆様と、当日は所用のためご欠席の安藤大輔(安藤醸造代表取締役)の5名の皆様です。学校側からは校長、教頭、事務長ほか各分掌主任が出席いたしました。校長の学校経営方針の説明に続き、信田全日制教頭からはキャリア教育年間計画について、小松定時制教頭からは定時制教育全般について説明をいたしました。席上「台湾の高校との交流及び姉妹校提携の可能性」「JRの列車ダイヤと学校の朝の時間帯の調整の必要性」「スクールサポート協議会のあり方」等について評議員からお尋ねがあり、校長からは、関係分掌や外部の関連諸機関等との調整のもと、今年度の実績や課題等を踏まえながら検討していく旨お答えいたしました。評議員の皆様からは、これまでの実績を踏まえ地域との連携を一層深めながら、新たな学校づくりに邁進するよう励ましのお言葉を頂戴いたしました。師弟同行の精神のもと進むべき方向性と克服すべき課題を全体で共有しながら日々の教育活動を鋭意展開して参りたいと考えております。評議員の皆様はもとより、保護者、地域の方々の変わらぬご支援をお願い申し上げます。



全県総体各部の活躍に沸く

去る6月6日(金)～10日(火)まで、県北地区を主会場として開催されました全県総体(先行開催種目は6月2日までに終了)では各部の健闘が光りました。弓道部の女子団体準優勝をはじめ、女子バレーボールが第3位に、男子卓球団体がベスト4に入るなど好成績を収め、それぞれ東北大会出場を決めました。先行開催の陸上部も5名の選手が東北大会出場を果たしました。また山岳部女子も参加4校中第2位と今後の活躍が期待されます。大館市樹海体育館で行われたバレーボール準決勝の秋田北高校戦では、本校3年A組、B組の生徒たちが控え選手や親の会の方々と一緒に熱のこもった声援を送りました。秋田北にはフルセットの末惜しくも敗れてしまいましたが、和洋女子との3位決定戦はストレート勝ちで東北大会出場を決め、コートの手選手たちも応援席も歓喜の渦に包まれました。古豪復活を予感させる試合内容に今後の活躍が期待されます。



行事

- 6月 19日(木)～21日(土) 角高祭
- 6月 19日(木) 合唱コンクール
- 6月 20日(金) 演劇コンクール
- 6月 21日(土) 角高祭一般公開
- 6月 22日(日) 若杉・駒草東京支部同窓会
- 6月 23日(月) 角高祭代休
- 6月 25日(水) 定例職員会議
- 6月 27日(金) 進路講演会(2、3年)
DV予防教育セミナー(1年)
高大連携授業(美術)
- 6月 29日(火) 国文祭100日前イベント
(仙北市)
- 6月 30日(月)～7月 3日(木)
1学期 期末考査



1学期中間考査も終わり、運動部の生徒にとっては、日頃の練習の成果を発揮する季節の到来です。県南総体、春季県南野球大会に続き、大きな舞台でのさらなる躍進を願い、生徒、職員も心から応援しています。

考査最終日の5月21日(水)には、全県大会の壮行式が行われました。各部主将からは力強い言葉が聞かれ、大会に向けて選手たちの士気の高さを感じました。校長からは、「小さな成長の中にも、多くの努力と多くの反省とそして多くの気づきがあったと思う。小さな成長を遂げるために積んできたこれまでの努力に誇りと自信を持って試合に臨んで欲しい。過程を大事にする姿勢を見失わず、過程を大事にしてきたことに自信をもって試合に臨んで欲しい。」と激励の言葉を贈りました。大会を通じ、次に繋がるもの、自身の糧となるものを掴んで欲しいものです。

同日、赤彦記念文学祭実行委員会ほか多くの皆様が、長野県下諏訪より来校されました。一行には若杉会東京支部の皆様も同行され、歓迎セレモニーのあと、校歌の大合唱で、110年前に遡る赤彦先生と平福百穂先生の交流に想いを馳せました。来校の方々からは、純朴で爽やかな生徒達の姿に感動したとお褒めの言葉を頂戴いたしました。写真は壮行式とステージ上の下諏訪訪角団御一行。



街頭募金への激励のお手紙届く！

岩手県立高田高校及び陸前高田市支援のための募金活動は前号でお伝えしたとおりですが、募金して頂いた京都にお住まいのご夫婦からお手紙と多額のご寄付も頂戴いたしました。募金活動を行っている生徒、職員への励ましの言葉も頂きましたので、内容を一部ご紹介いたします。

「被災された方々の本当の春はまだまだで、角館高校の生徒さん達の『清い心』を嬉しく思いました。何度か形を変えて震災の事に関わってきましたので、今回も心ばかりを入れております。募金のたしにしてください。写真も同封しております。青春の良い思い出にして頂けたらと思っています。被災された方々が一日でも早く心とむす日を迎えられるように祈っております。男子生徒さん、女子生徒さん、先生、皆様どうかお元気で過ごして下さい。」

被災された方々を励ます取り組みをしているつもりが、むしろ周囲の方から励まされる、こんな嬉しいことはありません。生徒の励みになるものと感謝、感謝です。

行事

- 5月 26日(月)～ 互見週間(授業参観)
- 5月 30日(金)～6月2日(月)
 - 全県総体 先行開催
- 6月 4日(水) 指導主事 来校
- 6月 6日(金)～10日(火) 全県総体
- 6月13日(金) 薬物乱用防止キャンペーン
 - (JR 角館駅頭)
- 6月14日(土) 3年公務員模試 土曜補習
- 6月19日(木) 角高祭準備 県南駅伝
- 6月20日(金)～6月21日(土) 角高祭
- 6月23日(月) 角高祭 代休

折健闘全県総体！



4月24日(木)のPTA総会には、平日にもかかわらず、百数十名の保護者の皆様に御出席いただきました。お忙しい中お越しいただき、ありがとうございました。改めまして御礼申し上げます。総会は、旧角館高校の佐藤PTA会長と旧角館南高校の福島PTA会長の御挨拶に続き、新年度予算案について御審議いただきました。新年度予算は両校のこれまでの実績を踏まえつつ、保護者の皆様の負担軽減にも配慮し編成いたしました。予算案承認後、新角館高校のPTA会長に選出されました佐藤義一様より、統合高校への期待やPTA活動の一層の充実に向け、抱負などを熱く語っていただきました。

総会終了後の学年PTAでは、進路指導や生徒指導について学校の指導方針の説明を行いました。保護者からは土曜補習や個人面談を充実させて欲しいといった要望も出されており、一人ひとりを大切にする教育への期待を強く感じました。今後とも御家庭と学校の連携を十分に図りながら、生徒の着実な成長を目指して参りたいと考えております。本校の教育活動に対しまして変わらぬ御理解と御協力を宜しくお願い申し上げます。



4年目の街頭募金でした!

3年前の東日本大震災で大きな被害を被った岩手県立高田高校への支援も今年で4回目となります。第2回春高バレーの決勝戦以来、バレー部を中心に交流が続いており、校舎が全壊し、二十数名の生徒と教師が犠牲となった高田高校のためにできることはないかと始めた募金活動でした。

統合初年度の今年度は、支援を高田高校のある陸前高田市にも広げようと考えております。昨年同市を訪れた際、震災の爪痕の未だ癒えない市内の現状に大きな衝撃を受けたことがきっかけです。

募金活動は、連休中の5月3日(土)から5日(月)にかけ、生徒会とインターアクト部が中心となり、角館駅頭や武家屋敷通りで行いました。飾山囃子部のみなさんからも演奏の合間に手伝ってもらいました。今年も大勢の皆様から御協力をいただき感謝いたしております。本当にありがとうございました。頂戴いたしました義援金は、6月の角高祭の募金とあわせて、後日、高田高校と陸前高田市にお届けする予定です。



交流の大運動会開催

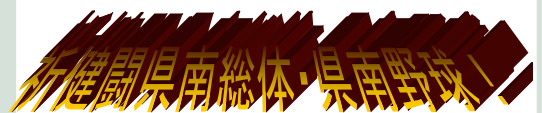
生徒が待ち望んだ運動会が、4月30日(水)に桜が満開のグラウンドで行われました。統合しても「交流」する機会がないという生徒の声もありましたが、この日ばかりは、男女の別なく、いい汗を流すことができたようです。

総合優勝の3年G組、おめでとう!!!



行事予定

- 5月 8日(木)～11日(日) 県南総体
- 5月 8日(木)～12日(月) 春季県南野球
- 5月16日(金) PTA 新役員会
- 5月19日(月)～21日(水) 中間考査
- 5月21日(水) 全県総体壮行式
- 長野県 島木赤彦研究会一行来校





新角館高校は、全日制237名、定時制7名の新入生を迎え、統合の第一歩を大きく踏み出しました。新たな学校は、「郷土を愛し、国際社会や地域社会に貢献できる生徒の育成」を目指し、保護者の皆様や地域の方々との連携を図りながら、生徒の着実な成長を目指して参りたいと考えております。新たな学校として再出発するにあたり、学校報等とおして、本校の教育方針やその時々学校の様子をお伝えし、本校教育をより身近なものに感じていただくよう努めて参ります。真の意味の統合にはまだ時間を要するものと思っておりますが、師弟同行の精神のもと、生徒、職員が一体となって新たな学校を築いて参りたいと考えております。本校の教育活動に対しまして一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

入学式を終え、早2週間が過ぎましたが、新2年生、新3年生はもとより、新1年生も自らの目標に向かって、好スタートを切ってくれたように思います。校長面談からも、前向きでやる気に溢れた生徒達の様子が窺え、頼もしい限りです。保護者の皆様の日頃のサポートの賜と感謝申し上げます。

今年度の重点目標

- (1) 思いやりの心(相手の立場に立って物事を考えることのできる心)を育む教育、生徒一人ひとりを大切にする教育の推進とおし、生徒間の協調性や生徒、職員の一体感を高める。
- (2) 基本的生活習慣の確立を図るとともに、自主自律の精神や正しい判断力のもと、積極的に行動する生徒を育成する。
- (3) 工夫と魅力のある授業づくりとおし、基礎力の定着や自ら学ぶ意欲、課題解決力、発信力等の育成を図る。
- (4) 生徒会活動や部活動、学校行事、地域学習等、体験的活動や課題解決的活動への積極的参加を促し、感動する心を育むとともに新たな学校づくりの担い手としての意識や地域の一員としての自覚を高め、自らの課題に積極的に取り組んでいく姿勢や能力を養う。
- (5) 多面的な進路情報の提供や面談を充実させるとともに、進路選択の幅や機会を拡充し、生徒が自らの進路実現に主体的に取り組み、挑戦する心や姿勢を養う。
- (6) 学校報や各種通信等による情報の積極的発信と共有化とおし、生徒の社会性や主体性を喚起するとともに、保護者や地域との連携強化を図る。

応援歌練習の効果は抜群! ?

新角館高校には旧角館高校校歌と旧角館南高校校歌の二つがあります。応援歌も同様です。その分、今年は覚えるべきものが増え、特に1年生は必死でした。728名の大合唱?に、新たな角高の躍動を感じます。



行事予定

- 4月21日(月) PTA役員会
- 4月23日(水) 単位追認考査
- 4月24日(木) 県南総体壮行式
PTA総会
- 4月28日(月) 職員会議
- 4月30日(水) 体育祭
- 5月 1日(木) 学校安全点検日
体育祭予備日
- 5月 5日(月) マーチング秋田県大会
- 5月 8日(木)~11日(日) 県南総体
- 5月 8日(木)~12日(月) 春季県南野球

各部の健闘を期待して

おります!